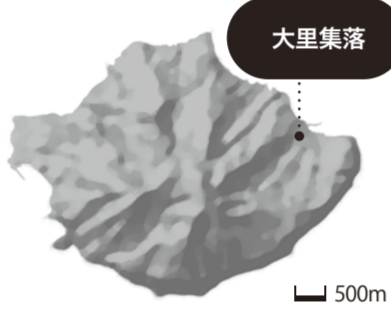




11



大里地区六〇代 男性

「小学生の頃、兄弟といろりを囲んでみかんを食べました。そのときに房を二つほど口に入れて種の数のあてっこをしました。勝てば、負けた人達から勝った種の数だけみかんの房をもらいます。当時みかんは貴重な食糧でした。」

思い出話

十一月の収穫期には、渡り鳥が来て実を食べ尽くすため、収穫は鳥と競争になる。黒島みかんは常温で痛むので専ら自家用で消費する。近年は大里の女性有志が黒島みかんのシフォンケーキを生産しており、余ったみかんは買い取り、冷凍して有効活用している。

三島村誌には、大里の中村与太郎氏の祖先が黒島みかんを初めて植えたところ。海岸に漂着した桐箱に種が一粒入っており、植えるとみかんだったという。このみかんは大正中期に枯れて黒島みかんはそこで絶えたようだが判然としない。他に、みかん栽培を奨励した南大隅の武將、網寝重長(ねじめしげたけ)が一五六六年に屋久島方面への出兵で竹島に持ちこんだ説。十島の中の島に同種がある説などあるが、どれも明確な根拠はない。

大里

黒島みかん

大里には、酸味とほどよい甘みで独特な風味の「黒島みかん」がある。青い実は果汁を刺身にかけたり醤油に混ぜて使う。

日	月	火	水	木	金	土
31	1 ● 旧 9/27	2 ● 旧 9/28	3 ● 文化の日 旧 9/29	4 ● 旧 9/30	5 ● 新月 旧 10/1	6 ● 旧 10/2
7 ● 旧 10/3	8 ● 旧 10/4	9 ● 旧 10/5	10 ● 旧 10/6	11 ● 上弦 旧 10/7	12 ● 旧 10/8	13 ● 旧 10/9
14 ○ 旧 10/10	15 ○ 旧 10/11	16 ○ 旧 10/12	17 ○ 旧 10/13	18 ○ 旧 10/14	19 ○ 満月 旧 10/15	20 ○ 旧 10/16
21 ○ 旧 10/17	22 ○ 旧 10/18	23 ○ 勤労感謝の日 旧 10/19	24 ○ 旧 10/20	25 ● 旧 10/21	26 ● 旧 10/22	27 ● 下弦 旧 10/23
28 ● 旧 10/24	29 ● 旧 10/25	30 ● 旧 10/26	1	2	3	4